

発行 日本共産党南知多支部



連絡先
〒470-3321 南知多町
内海内塩田77-3
(南知多町議会議員)
内田 保
電話 0569-62-1816
携帯 090-2776-7529

内田たもつだより

内田たもつ ホームページ
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行
uh 赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

3月議会報告続報

町民の税金を町民のためになる使い方に

3月議会では、3月17日、2023年度一般会計予算73億1400万円の採決が行われました。今年度の予算では、病院や学校へ通つ、買い物等の離島交通費助成が、大人16枚から20枚へ、小人14枚から18枚へ増やしました。また、日間島中学生には、定期券の発行で通学を支える予算になつていきます。これは島民の方の経済性、利便性を向上させるもので一歩前進予算です。しかし、内田議員は、次のような点から反対しました。
・非正規労働者(会計年度任用職員)への差別を解消して
・一般会計からの国保会計応援金を3千万から2千万円に引き下げないで
・滞納整理機構・リニア建設への無駄な負担金は問題
・給食費一部無償化、大学生までの医療費無償化にもっと予算を使って
反対討論の中から一部紹介します。

会計年度任用職員への差別賃金が解消されていない

会計年度任用職員制度に伴う関係予算は、正規職員と同じ待遇にすることを原則としているにもかかわらず、そのようなになっていません。町の対応は、パートタイム条列で、勤勉手当を支給せず、育休の職場復帰号俸調整も適用しません。同一労働・同一賃金に反する予算です。

学校用務員の賃金では、2名が再任用、5名の会計年度職員の採用であるが、再任用用務員は、約2302万円、会計年度用務員は約190万円、ポーンナスは、再任用用務員は、期末・勤勉手当で約45万円、会計年度用務員は期末手当のみで約30万です。年間賃金で約40万、ポーンナスでも約15万円程の差別を温存しています。ほとんど同じ職

務内容にもかかわらず15分の勤務時間の違いを理由に、差別を合理化するのは問題であり、改善すべきです。また、会計年度任用職員間の差別もあり解消すべきです。少なくともすべての職種で4号級は、1年でアップする報酬単価表にかえるべきです。

国保会計への一般財源からの差外繰り入れをもっと増やすべき

国保会計は、県統一の制度となり、今年も昨年より高い標準保険料が示されています。町民が払える国保税とするために、本来は全国知事も要請している1兆円規模の国や県からの責任をもった費用の投入が必要です。今回3千万円から2千万円に繰り



内福寺の花桃

入れが引き下げられました。低所得者減免、子ども均等割り減免なら、一般会計からの投入も可能です。

低所得者で子どもが多い世帯には、均等割・平等割・大変厳しい税額です。まず、赤ちゃんから一人約2万円以上の均等割をとるという税金の仕組みは、子育て応援からも減免していくことが必要です。そのためには、一般会計からの国保会計への増額は、どうしても必要です。今回の繰り入れ額の引き下げは国保会計を圧迫し、国民健康保険税を大きく値上げする要因になるものです。

知多地方滞納整理機構への負担金の支出はやめろべき
滞納整理機構へ、現在も南知多町は50万円の負担金を払っています。「高額滞納者に対して成果がある」「徴収技術の向上」などとしています。しかし、その徴収方法は、差し押さえを前提に強権的な手法がとられるのが前提です。

「川柳コーナー」

議会とは静かに座って耐える場所？

今回の3月議会、一般質問は4人、各委員会からの報告はあるものの、本議会で質問討論した議員は、ほぼ内田議員のみ。「意義ナシ」の声は響くが、議案を深め、チェックする意見が少なく、黙って早く終わるのを待っている？



リニア中央新幹線建設促進
リニア中央新幹線建設促進債同期同盟会に毎年3千万円支出しています。リニア工事は、未解決な問題を後回しにして、巨額な国費・県負担金を生む強引な計画です。採算は赤字とも報道されています。地元住民の反対の声も上がっています。難工事の活動層の工事方法、大量の残土問題、地下水の処理、大井川の水洩れ懸念、膨大な電力消費、電磁波問題、そして岐阜のウラン鉱床掘削問題が解決しないままの負担金はやめろべきです。

